

一般質問

24人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。議員名の横のコードの読み込みで、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。※閲覧には、通信料が発生します。

中規模ホールの整備

柞山 数男 (自由民主党)



問 ホールの機能の特色や座席数は。また整備スケジュールは。

答 演劇や歌舞伎、コンサートなど、多種多様な用途に対応可能な多機能型ホールを基本とする方針であり、座席数はおおむね600から800席程度を想定している。

今年度中に基本計画とPFI事業の公募のための要求水準書の策定を行う予定であり、来年度の早い時期には公募を開始する。優先交渉権者の決定や、実施設計を経て、遅くとも33年度には建設工事に着手したいと考えている。(企画管理部長)

【質問項目】

- ▼来年度予算編成と本市財政
- ▼富山広域連携中枢都市圏
- ▼中規模ホールの整備
- ▼コンパクトなまちづくりの推進

農業集落排水事業

横野 昭 (自由民主党)



問 中山間地域の排水施設について、負担の大きい公共下水道への接続から合併浄化槽の設置へ見直せないか。

答 施設の更新を集落の軒数が減っている中で行うことは、1軒あたりの負担が増え、負担できないとどうしていくのが大きな課題。ただ、下水道化計画として県市町村挙げて整備してきた経緯があり、政策の一貫性の面から見直しには議論が必要だと思う。個人的な意見だが、公共下水道への接続や施設の更新が難しいところについては、合併浄化槽の設置に変えていくというのは、一つの有力な選択肢だと思う。(市長)

【質問項目】

- ▼SDGs (持続可能な開発目標)
- ▼中山間地域
- ▼富山通信病院
- ▼富山勤労総合福祉センター
- ▼農業集落排水事業

カラス被害の防止に関する条例制定

高道 秋彦 (自由民主党)



問 カラスへの餌やりの禁止などを含む、カラス被害の防止に関する条例を速やかに制定すべきと考えるが、見解は。

答 市民と行政が一体となって、より効果的なカラス対策を実施し、本市が目指す都市像である、安心・安全で持続性のある魅力的なまちづくりを実現するために、「(仮称)富山市カラスによる被害の防止及び生活環境を守る条例」を、31年3月定例会に提案したいと考えている。(環境部長)

【質問項目】

- ▼カラス被害の防止に関する条例制定
- ▼富山市ファミリーパークのサル脱走
- ▼「富山ガラス」のブランド化
- ▼富山市つばき園維持管理業務委託

市民の避難行動

佐藤 則寿 (公明党)



問 水害時に個人がとるべき避難行動を時系列に表す「マイ・タイムライン」の市民への普及を期待するが、取り組みは。

答 マイ・タイムラインは、住民自らが避難に必要な情報・判断・行動を把握し、安全行動をとるものとして、住民主体の取り組みで作成されたもので、この活動が地域の防災力の向上にもつながる有用なものであることから、多くの方々から知っていただくことが重要である。本市としては、災害時に市民に適切な避難行動を取っていただくため、出前講座等、さまざまな機会を捉えて周知に努めたい。(建設部長)

【質問項目】

- ▼財政運営
- ▼防災・減災のための施設や整備
- ▼市民の避難行動
- ▼避難所等の対応

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

3日前

国 市 住民等

市 自治体の防災計画を把握。

住民等 マイ・タイムラインを完成!

避難準備の準備 避難行動の開始!

避難行動の開始 避難行動の完了!

避難行動の完了 避難行動の完了!

マイ・タイムラインの検討の過程で…

① リスクを認識できる
・自分の家が浸水してしまう
・避難経路が通いにくい

② いつ、どうやって逃げればいいのか
・なにを持っていく?
・いかに逃げる? 誰と逃げる?
・危険な場所をよけて逃げるには?

③ コミュニケーションの幅が広がる
・意見交換することで知り合いになれる
・ご近所とのつながりが強くなり、よくなる

マイ・タイムラインができる…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の遅れを防止
- ② 災害時の情報をサポート

逃げ遅れゼロ

マイ・タイムライン
(鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫
に関する減災対策協議会 記者発表資料)

地域生活拠点の整備

舎川 智也 (自由民主党)



問 公共交通が便利ではない地域に居住する人々への対応や、今後、中枢中核都市となることについて、市長の見解は。

答 シビルミニマムをしっかり確保していくことは、基礎自治体として当たり前のことである。過疎地でも1日に2往復ぐらいは医療機関へ行けるような体制が、少なくとも必要だろうと思っている。中枢中核都市については、具体的にどうなっていくかわからないが、動向を注視し、手挙げ方式なら積極的に対応していきたいし、国から指定されるのであればしっかり受け止めていきたい。(市長)

【質問項目】

- ▼地域生活拠点の整備
- ▼富山市スポーツ施設の管理運営と活用

保育所等に関すること

村石 篤 (社会民主党議員会)



問 子どもたちのための幼児教育・保育の無償化を求める全国市長会の緊急アピールで、最も訴えたかった点は。

答 この緊急アピールは全て重要な項目であり、制度設計の詳細を早急に明らかにすることなどを挙げているが、中でも、幼児教育・保育の無償化は、国において提唱された施策であることから、事務負担の増加に伴う人件費やシステム改修経費などの事務費も含め、この新たな施策を行うために必要な財源については、国の責任において全額国費で確保するよう、要請したところである。(市長)

【質問項目】

▼非常勤職員の労働条件等 ▼教育
▼保育所等に関すること ▼エゴマ栽培 ▼移住政策



色覚の検査（「色覚チョーク」の導入）

高田 真里 (自由民主党)



問 小中学校の教育現場に、全ての児童生徒が見やすい「色覚チョーク」の導入を促すべきと考えるが、見解は。

答 各学校では、色覚異常の疑いのある児童生徒にも分かりやすいように板書の仕方を工夫している。どのようなチョークを使用するかについては、各学校が適切に判断するものだが、今後、色覚の特性によって児童生徒が不利益を受けることがないように、校長会等を通じて、チョークを購入する際の選択肢の一つとして、色覚チョークの特徴等について、情報提供していきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼北朝鮮による日本人拉致問題 ▼富山駅周辺のにぎわいづくり
▼色覚の検査 ▼包括外部監査



富山県立水橋高校の再編統合と跡地利用

押田 大祐 (自由民主党)



問 水橋高校の跡地を活用し、今後市で公共施設を整備する考えはないのか。

答 高校の跡地は所有者の県が主体的に検討する事柄であるというのが本市の基本的スタンスであり、活用策を検討する考えは現時点ではないが、今後、県の検討に際し、跡地利用の可能性の広がりを見込み、隣接する市道の拡幅を市単独事業として進めている。なお、水橋地区では目下の課題である(仮称)水橋会館の整備を、先般、複合施設の機能については地元の意見がまとまったと伺っていることから、その要望等を踏まえ事業を推進していきたい。(市長)

【質問項目】

▼富山県立水橋高校の再編統合と跡地利用



通学困難な児童への対応

上野 蛍 (光)



問 通学が困難な地域などでの活用も考えられる、遠隔授業の取り組みについて、今後の市の方向性は。

答 遠隔教育は、小規模校等の授業において、テレビ会議システム等で学校同士をつなぐことで、多様な意見や考えに触れたり、協働して学習に取り組んだりする機会が充実する等の効果がある一方、子どもの様子を読み取った指導等ができない可能性があることや、教員の負担増、多大な整備費用等の課題がある。他の自治体の成果や課題などの情報を得るとともに、国の動向を注視していきたい。(教育長)

【質問項目】

▼通学困難な児童への対応 ▼機材等の備品化
▼多様な性の尊重 ▼公債費の在り方



富山県立水橋高等学校

市街化調整区域と政策

江西 照康 (自由民主党)



問 市街化調整区域の集中した市北側の将来ビジョンをどう考えているか。

答 都市計画法の見直しの議論がない現状では、問題があっても現制度の中で、どのようにしていくかを考える必要がある。

その上で、北部エリアには、多くの工場群があって雇用を多く生んでいるため、市街化調整区域内の工場に対する一つの支援策として、補助金等を設けている。また、農地の再整備についてもしっかりと支え、農業振興も市として一緒に取り組むなど、エリア全体の振興に今後も努めていきたい。(市長)

【質問項目】

▼市街化調整区域と政策 ▼農道の維持補修



児童養護施設の現状と課題ならびに社会的養護の在り方と本市の方針

竹田 勝 (自由民主党)



問 本市における児童養護施設の現状ならびに社会的養護の在り方と今後の取り組みについて、市長の見解は。

答 国が示す社会的養護の考え方は、より家庭的養育に近い、施設の小規模化や特別養子縁組の推進などであり、その方向性は理解できるが、現場からすると、すぐに対応することは難しい。こうした中で、現園舎の役割は重要であり、入所している児童や職員に不安感を与えることのないよう、今後は、市として、施設運営を充実させるとともに、人材育成の面でも、県との連携を密にして取り組んでいきたい。(市長)



【質問項目】

- ▼児童養護施設の現状と課題ならびに社会的養護の在り方と本市の方針
- ▼住民主体の支援サービスの事業開始時期

あいの風とやま鉄道の富山駅と東富山駅間の新駅

小西 直樹 (日本共産党)



問 新駅西側の整備は、地元住民の意見を聞きながら進めるべきではないか。また、浸水被害が続く地域であるため、総合的な対策を検討すべきではないか。

答 あいの風とやま鉄道が新駅西側の駅周辺整備と管理を行い、市が必要な支援を行う方向で協議をしている。事業については、あいの風とやま鉄道と連携し、地域の意見を聞きながら進めていきたい。浸水対策事業として、排水路の能力向上工事の実施や調整池の整備を計画しており、新駅周辺の宅地開発の際には調整池の整備を指導していく。(活力都市創造部長、建設部長)



【質問項目】

- ▼小中学校のエアコン設置
- ▼指定管理者制度
- ▼国民健康保険
- ▼あいの風とやま鉄道の富山駅と東富山駅間の新駅(2021年春完成予定)

改正健康増進法(受動喫煙対策)

泉 英之 (自由民主党)



問 全国チェーンのコンビニ等でたばこを購入した場合、市たばこ税は店舗が所在する市町村の収入となるのか。

答 たばこの小売販売業者は、たばこ事業法により、その店舗ごとに財務大臣の小売販売業の許可を得なければならないとされており、全国チェーンのコンビニ等も店舗ごとに日本たばこ産業株式会社や外国たばこの輸入業者などから直接仕入れている。このため、コンビニ等で販売されるたばこについても、それぞれの店舗に売り渡される際に課税され、各店舗の所在する市などに申告納付されるものである。(財務部長)



【質問項目】

- ▼改正健康増進法(受動喫煙対策)

有害鳥獣被害対策

石森 正二 (自由民主党)



問 イノシシ対策マニュアルの作成状況とその活用予定は。

答 本市では、中山間地域の方々にイノシシの生態や特徴、被害対策等について理解してもらうための富山市イノシシ対策マニュアルを31年1月末を目途に作成している。作成後は市ホームページへの掲載や、31年2月開催のイノシシ対策研修会や、毎年8月上旬に開催している電気柵設置講習会など各種研修会等での活用を予定している。このマニュアルが、地域一体となって侵入防止対策や捕獲対策等に取り組むきっかけになればと考える。(農林水産部長)



【質問項目】

- ▼エゴマの栽培
- ▼有害鳥獣被害対策
- ▼除雪体制



電気柵設置の様子

公共施設マネジメント

尾上 一彦 (会派 誠政)



問 「まちづくりと公共施設のこれからを考えるワークショップ」開催の意義と目的は。

答 開催の意義は、地域の現状や将来人口を知り、将来のまちづくりについて当事者意識を持ってもらうことであり、目的は、地域の代表や施設利用者など、住民主体で計画案を検討してもらうことである。こうしたワークショップの開催が、住民ニーズを反映した施設となり利用が増えることや、改めて地域を見直せること、都市経営の担い手でもある自覚が芽生えることにもつながると考えている。(企画管理部長)



【質問項目】

- ▼小中学校における「いじめ」の実態調査結果
- ▼公共施設マネジメント
- ▼企業誘致

いじめ対策

久保 大憲 (自由民主党)



問 いじめ^{ゼロ}の公表により新たないじめが発見されたか。された場合、どのような案件か。また認知に至った経緯は。



答 新たに1件のいじめが発見された。この1件は、昨年度、学校外の場所で起きた友人関係のトラブルで、昨年度中に解消している。30年9月に、学校でいじめ^{ゼロ}であったことを伝える全校集会を行った後、全員面談をした中で、いじめに遭った子が話し発見した。当時の担任は事実を把握し対応していたが、学校外で起きたことは報告の対象外と考えていたため学校として認知していなかった。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

- ▼表彰規定
- ▼いじめ対策
- ▼学校予算

社会資本整備に対するコスト縮減手法

松井 邦人 (自由民主党)



問 長期的視点から、行政と事業者双方の技術力向上とコスト縮減のための契約後VE^{*}に対する認識は。



答 規模が大きい工事では技術提案によるコスト縮減効果が期待できるが、対象となる工事は限定されると考えている。しかし、受注者側にとっては、創意工夫の機会が増えることで技術力の向上が期待でき、発注者側の市においても、技術提案の妥当性を判断する機会が得られることから、長期的には、担当技術職員だけではなく、組織としても技術力の向上が期待できる取り組みであると認識している。(建設部長)

【質問項目】

- ▼社会資本整備に対するコスト縮減手法
- ▼SDGs 未来都市としての循環型トイレ
- ▼小中学校におけるプログラミング教育

*VE…機能や品質がもたらす満足度とコストの妥当性を比較しながら、費用対効果を最大限に高めることを目指す活動全般。Value Engineeringの略。

稲荷町・不二越駅間新駅設置と県立大学看護学部の開学

木下 章広 (創政改拓)



問 新駅の施設は、高齢者でも安心して利用できるような安全面の配慮はなされているのか。



答 新駅は、バリアフリーに対応するため、点字ブロックを設置し、スロープには手すりや滑り止め加工された舗装が施されると交通事業者から伺っている。また、利用環境向上の観点から、スロープおよびホームの一部に上屋が設置されるほか、夜間の利用を考慮した照明が設置される等、安全面の配慮はなされているものと考えている。(活力都市創造部長)

【質問項目】

- ▼稲荷町・不二越駅間新駅設置と県立大学看護学部の開学
- ▼富山市中心市街地のにぎわい創出
- ▼富山市のシティプロモーションのさらなる活発化

教育環境の充実と多忙化解消

金谷 幸則 (自由民主党)



問 今後、部活動指導員の増員が必要だと考えるが見解は。



答 今年度から部活動指導員5名を中学校4校に配置している。その成果として、教員が顧問として指導に当たる時間が削減され、教材研究や学級事務等の時間が確保されたことや、専門外の部活動を指導する教員の心理的負担が軽減されたことなどの報告があった。部活動指導員の配置には、教員の多忙化解消に一定の効果がみられることから、今後、学校の実情や要望、人材の確保等の状況を踏まえ、増員を検討していきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

- ▼教育環境の充実と多忙化解消



中山間地域に対する県との協働・連携

大島 満 (フォーラム38)



問 自由民主党富山県議会議員会が意見を求めた「中山間地域の新たな対策・人口減少下における持続可能な社会の形成」への回答は。また県との協働・連携強化は。



答 意見としては、①(仮称)中山間地域創生推進交付金については、事前に市町村の意見を踏まえて検討すること②富山県広域連携中枢都市圏の取り組みへの支援③広域的観点から取り組む必要のある事業は県が主体的に推進すること④国や各市町村の既存施策との重複を避けること一について回答した。今後県から、市町村に連携・協力が求められた場合は、その時点で対応を検討していく。(企画管理部長)

【質問項目】

- ▼市民課窓口業務
- ▼出入国管理法改正による影響
- ▼(株)富山市民プラザと(株)まちづくりとやまの統合
- ▼野生鳥獣の捕獲とジビエの普及 など

本庁舎内における市民サービス向上 松尾 茂 (公明党)



問 死亡に関する手続きのワンストップ窓口となる「おくやみコーナー」を設置してはどうか。

答 本庁では、各種手続きが1カ所で行える、いわゆるワンストップ窓口は設置していないが、遺族の方が来庁した際に、手続きをサポートするフロアマネージャーを配置している。また、行政サービスセンター、地区センター、とやま市民交流館では、死亡に関する基本的な手続きがワンストップで行える体制を整えている。こうしたことから、「おくやみコーナー」の設置は考えていない。(市民生活部長)



【質問項目】

- ▼本庁舎内における市民サービス向上
- ▼地域包括ケアシステムの取り組み ▼街区公園の在り方

消雪管理組合等が所有する消雪設備の状況 東 篤 (社会民主党議員会)



問 消雪装置設置補助金交付要綱では、「更新補助は1回に限る」となっているが、部分的ではなく、全てを更新した時点を1回とすべきと考えるが見解は。

答 更新補助金の交付要件は、井戸ポンプ等の一般的な耐用年数を基に経過年数を定めているが、配電盤の故障や一部取り換え等で何度も費用を負担する事例もあり、1回限りとするこの制度に合わない場合がある。町内消雪装置の全体把握に努め、町内会等からの相談事例等や近隣他都市も参考にし、更新の定義付けや在り方などについて調査研究していきたい。(建設部長)



【質問項目】

- ▼消雪管理組合等が所有する消雪設備の状況
- ▼富山市民病院の研修医の労働実態

新・放課後子ども総合プラン 島 隆之 (光)



問 放課後の子どもたちの安全な居場所は、どこがよいと考えているか。

答 新・放課後子ども総合プランの通知のとおり、学校は、放課後も、児童が校外に移動せずに安全に過ごせる場所と認識している。これまで、必要に応じ校舎改築等の際には、校舎内に地域児童健全育成事業の専用室を整備している。また、小学校の敷地外で実施されている放課後児童健全育成事業については、事業者による送迎や地域における見守りなどにより、移動時の安全にも配慮された居場所と考えている。(教育委員会事務局長、こども家庭部長)



【質問項目】

- ▼新・放課後子ども総合プラン

富山大空襲

赤星 ゆかり (日本共産党)



問 富山大空襲の資料を市内外に呼びかけて収集し、常設展示すべきだと考えるが、市長の見解は。

答 本市のこれまでの取り組みは、いささか不十分で資料館をつくるほどの資料は、所有していない状況にある。今なら、少し間に合うかもしれないという気持ちもあることから、収集の呼びかけについて取り組むよう指示したところであり、来年度に何らかの事業を提案することになると思う。レプリカを作り展示するという事は、あまり意味がないと考えており、収集作業から始めたいと思う。(市長)



【質問項目】

- ▼富山大空襲 ▼公共交通の拡充
- ▼学校給食と地産地消



富山大空襲の関係資料 (防空頭巾など)

市議会^{まめ}豆知識 一般質問の巻

本市議会では、議員が市の一般事務に対する説明や状況を聞く「一般質問」と、提出された議案に対して疑問点等を問いただす「質疑」を一括して行っています。

質問時間は、会派持ち時間制とし、会派所属議員数に120分(答弁時間を含む)を乗じた時間を年間の持ち時間としています。

質問者は、質問要旨を記載した発言通告書を、あらかじめ議長へ提出して質問を行います。その際、60分、45分、30分から質問時間を選択し、質問項目ごとに答弁を求める「一問一答方式」(質問席で行う。写真④)と、質問項目すべてを一括して質問し、答弁を一括して求める「一括質問一括答弁方式」(演壇で行う。写真⑤)のどちらかの質問方式を選び行います。

